

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく2

国立市立国立第七小学校

平成27年2月10日 NO.84 (184)



ヒヨドリ

ヒヨドリ 「おれ^{さま}様は、ヒヨドリだ。」

オー君 「なんだか、あんまりきれいな^{とり}鳥ではないね。」

花ちゃん 「でも、ヒヨドリはあちこちでよく^み見ることができる^{とり}鳥よ。」

ヒヨドリ 「何^{なに}！あんまりきれいでない！あちこちにいる！」

オー君 「まあ、そんなにおこらないでくださいよ。」

花ちゃん 「まあまあ、ヒヨドリさん！あなたにはどんな^{とくちょう}特徴があるのですか。」

ヒヨドリ 「そうだな。^{ぜんたい}全体が^{はいいろ}灰色に^み見える^{とり}鳥だな。きれいな^{とり}鳥ばかりがいいんじゃないんだぞ。おれ^{さま}様みたいなのだっているんだ。」

オー君 「ヒヨドリさんは、どんな^た食べ物^{もの}が^す好きなんですか。」

ヒヨドリ 「まあ、そうだな。^{はな}花の^{みつ}蜜や^だくだもの^{だいす}が大好きなんだな。きのうは、モンタ^{はかせ}博士のおうち^いに行って、ミカンが^き木の^{えだ}枝にさしてあったので、ちょいといただいて

きたよ。モンタ博士が窓からじっとおれ様を見ていたよ（これは、本当のお話
で、2月8日（日）朝のことです）。

オー君 「花ちゃんがあちこちにいると言ったけど、一年中いるのですか。」

ヒヨドリ 「いいこと聞いてくれるね。おれ様は、ちょっと前までは（50年程前）まで
は10月に日本にやってきて、4月には渡り去る冬鳥だったけど、今では
一年中いて、留鳥と呼ばれているよ。」

オー君 「留鳥って何ですか？」

ヒヨドリ 「オー君は何にも知らねえんだな。こまったやつだ。おいらが教えてやるよ。」

花ちゃん 「ヒヨドリさん！よろしくお願ひします。」

ヒヨドリ 「あんな、鳥は一年中日本にいてもないんだ。春から夏に日本にやって
来る鳥を夏鳥、秋から冬にやってくるのも冬鳥というんだ。こういうのを渡り
鳥というのさ。それに対して、おれ様やカルガモみたいに、一年中日本にい
るのを留鳥というのさ。」

オー君 「へえー！そうなんだ。」

ヒヨドリ 「それから、みんながよく見かけるカルガモだけど、漢字で『夏留鴨』と書く
のさ。ほとんどのカモが冬鳥なのに対して、カルガモは一年中いるカモなん
だよ。わかったか！オー君。」

オー君 「ヒヨドリさん！どうもありがとう。いろいろと勉強になりました。」

花ちゃん 「それから、ヒヨドリさん！ついでにオー君に、ヒヨドリさんの鳴き声や飛び方
についても説明してください。」

ヒヨドリ 「そうだな。おれ様の鳴き声だけど、ピーヨ・ピーヨと鳴くんだ。それで、
ピーヨドリがヒヨドリになったともいわれているんだよ。」

オー君 「飛び方は？」

ヒヨドリ 「そうだな。飛び方っていうのも、鳥を見分けるのにとってもいい観察方法だ。
カワセミみたいにまっすぐに飛ぶ鳥もいれば、トビのように風の向きを利用
し、羽をバタバタさせず省エネで飛ぶやつもいるんだ。」

オー君 「それで、ヒヨドリさんの飛び方は？」

ヒヨドリ 「おれ様は、波のように上にいったり下にいったりするのさ。」